

PRO MUSICA NIPPONIA

日本音楽集団

第124回◆定期演奏会

ファンタスティックコンサート

～江戸音楽考察～

企画・構成 簗田司郎



1992年7月9日(木)午後7時開演
津田ホール

主催/日本音楽集団 TEL03-3378-4741
〒151東京都渋谷区笹塚3-17-1滝沢ビル302

プログラム

司会 宇夫方 路

◇江戸長唄

吉原雀より／新内・佃・虫の合方／越後獅子よりさらしの合方
二人椀久より踊地／勧進帳 等々……

〔唄〕 杵屋 崇光・杵屋 利光

〔三味線〕 簗田 司郎・野口美恵子・太田 幸子・原田富士江

〔囃子〕 尾崎 太一・藤舎 円秀・藤舎呂久治○望月太喜之丞○西川 浩平

◇乱輪舌

八橋 検校 作曲

〔箏〕 白根きぬ子

◇鶴の巢籠

古典本曲

〔尺八〕 藤崎 重康

◇華やぎ

三木 稔 作曲

〔二十絃〕 木村 玲子

◇夜遊楽

山田抄太郎 作曲・中内 蝶二 作詞

〔唄〕 杵屋 崇光・杵屋 利光

〔三味線〕 簗田 司郎・野口美恵子・太田 幸子・原田富士江

◇大津絵幻想

長沢 勝俊 作曲

〈鬼の念仏〉〈藤娘〉〈瓢箪鯨〉〈長刀弁慶〉〈雷と太鼓〉

〔笛〕 西川 浩平

〔尺八〕 I=藤崎 重康 II=米澤 浩 III=素川 欣也

〔胡弓〕 坂田 進一

〔三味線〕 太棹=坂井 敏子 細棹=野口美恵子

〔琵琶〕 丹野 さえ

〔箏〕 花房はるえ 〔二十絃〕 木村 玲子 〔十七絃〕 宮越 圭子

〔打楽器〕 尾崎 太一・望月太喜之丞

〔指揮〕 田村 拓男

構成にあたって

長唄という言葉の印象、知っている人には、なかなか幅があって、はぎれのいい音楽、馴じみのない人には、たんすの奥からひっぱり出して聞かされているような感覚、確かに両面がある事は事実でしょう。

しかし、ポップス、民謡、クラシック、なんでも聞ける現在、あらためて長唄も一つの音楽のジャンルとして自分の趣味の一つに加えようとしてくれる若者も見うけられます。ただ、初心者に親切に聞かせてくれる演奏会はなかなかありません。長唄や、伝統音楽といわれている音楽群が、歌謡曲のような立場であった当時なら、何の説明もいらないのでしょうが、現在では、日本の風景も言葉そのものも変わってしまいました。それを現代によみがえらせるには、ある程度のフォローがなされるべきだと思います。

今日のコンサート、そんな思いをこめて、古典から現代までの移りかわりが演じられればと願っています。

(箕田司郎)

夜遊楽

中内蝶二 作

萩もすすきも一と色に 暮れてわびしき広野原
風の音さへ吹き絶えて 青くまたたくひとつ星
ひんがしの 山の端黒く隈どりて
空ほの白む月代に 萩も桔梗もなよなよと
紫ぼかす色ごろも 水より清く澄みまさる
月のしづくのしたたりか 葉末にしげき草の露
そのうま酒をくみかはし 夜遊の楽や
かなづらん 音も美しき蟲の声々

客演者

- 〔長唄〕 杵屋 崇光・杵屋 利光
- 〔囃子〕 藤舎 円秀・藤舎呂久治
- 〔尺八〕 素川 欣也
- 〔胡弓〕 坂田 進一

日本音楽集団今後の主な予定

7月13日(月) 日本音楽集団演奏会

グリーンホール相模大野

9月2日(水)～10月2日(金)

東北(大館、弘前、青森、三沢 他)、北海道(長万部、釧路、北見 他)方面にて
一般及び学校公演を行います。

9月17日(木) 日本音楽集団若葉マーク・コンサート(その8)

アコスタディオ

10月6日(火) 第125回定期演奏会

朝日生命ホール

11月24日(火) 第126回定期演奏会——三木稔を迎えて

津田ホール

日本フィルハーモニー交響楽団第446回定期演奏会で、秋岸寛久作曲の「三味線協奏曲」

が演奏されます。〈12月7日(水) サントリーホール(大)〉

この作品は一昨年10月に仙台フィルで委嘱初演されたもので、三味線独奏は初演と同じ杉浦弘和氏です。

箏

二十絃箏

箏を愛するすべての人の繊細な感情を忠実に音に表現す
るために、楽器の本質を追求した箏

日本音楽集団推薦

琴光堂和楽器店

東京都目黒区碑文谷2-19-15 TEL(3792)8481 FAX(3792)8437